

令和6年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月5日(火) 午前 10 時～ 質問者順

① 大西秀樹議員〔志誠会〕

発 言 事 項	内 容
質疑 1 第 23 号議案	令和 6 年度三木市一般会計予算 (1) 過去最大規模の予算編成となった要因 (2) 山田錦の聖地推進事業 (3) 住宅耐震化補助事業 (4) 統合型 GIS システムの導入
一般質問 1 青山 7 丁目団地再耕 プロジェクト中の交 流拠点施設整備事業 について	(1) 総事業費 20 億 8,000 万円の内訳 (2) 官民双方の負担範囲 (3) 仕様書作成の経緯 (4) 公共施設再配置計画との整合性
一般質問 2 農業施策について	(1) 猪など害獣の侵入防止柵の更新 (2) ジャンボタニシ被害の現状と対策 (3) 新規就農者の現状及び地域と繋ぐ仕組み作り (4) 農業用水路のパイプライン更新に掛かる補助 (5) お試し移住施策等を活用した農業従事者の確保及び空き家対策
一般質問 3 歴史美術の杜構想に ついて	(1) 進捗状況及び今後の計画

② 初田稔議員〔公政会〕

発 言 事 項	内 容
質疑 1 第 30 号議案	令和 5 年度三木市一般会計補正予算（第 8 号） (1) 防犯カメラ設置補助金 345,000 円の減額補正 ア ここ数年、予算執行率が低いことの原因 イ 維持管理費用の負担
質疑 2 第 23 号議案	令和 6 年度三木市一般会計予算 (1) 防犯カメラ設置工事費 〔事業費 660 万円〕 ア 設置予定のカメラは従来型か AI 搭載か イ 令和 6 年度から 3 年間で 60 台とした理由 ウ 設置場所に通学路を選定していない理由 (2) 省エネ家電への買替え促進 〔事業費 1,000 万円〕 ア 省エネ基準達成率の確認方法の周知方法 イ 複数以上の購入者への対応 ウ 補助金支給方法及び予定事業費を超えた場合の対応 エ 補助申請手続き (3) スマートインターチェンジの整備 〔事業費 4 億 1,300 万円〕 ア 用地購入、物件補償、整備工事の進捗状況 イ 完成後、三木スマートインターから三木市街地へ流入する車 の増加による交通渋滞への影響

質疑 2 第 23 号議案	ウ 久留美大橋の拡張 エ 地域活性化についての考え方 (4) 児童発達支援センターを設置 [拡充分の事業費 36 万円] ア 医師の配置日数及び相談の受付 (5) トカイナカ三木新生活支援事業 [事業費 2,940 万円] ア 国の制度：結婚新生活支援事業について イ 事業費 2,940 万円の内訳 ウ 移住者（転入者）の目標 (6) 市制施行 70 周年記念事業 [事業費 4,847 万円] ア 事業費 4,847 万円の内訳 イ 三木の祭り屋台大集合 60 周年実施内容との変更点 ウ 地域まちづくり交付金 100 万円拡充の使途 エ 上田桑鳩作品展等 241 万円の詳細と図録作成 (7) 中央公民館等複合施設の整備 [事業費 2,365 万円] ア 4 公共施設に三木商工会館を複合化する事による変更点 イ 民間活力を導入する事も検討されているようだが、提案のタイミング ウ 複合施設の整備に伴う効果として「地域のにぎわいづくり」も特筆されているが、その具体的な内容 エ 建設にあたり、国の補助金申請予定の有無 オ エで申請有の場合、必要書類、計画書、その他手続き費用は今回の事業費に含まれるのか (8) 青山 7 丁目団地再耕プロジェクトの推進 [事業費 20 億 8,000 万円（うち令和 6 年度事業費 10 億円）] ア プロジェクトの概要と理念 イ 事業費の内訳 ウ 10 年目以降の長期的な維持、運営 エ 地域の説明 (9) チャレンジするなら三木プロジェクト [事業費 1 億円] ア 先端技術を活用した地域課題解決に向けた事業スキーム イ この取り組みを通じて目指す姿
一般質問 1 大規模災害の対応について	今回の能登半島地震で、最大震度 7 の強い揺れに地盤の液状化が重なり道路等のインフラや上下水道のライフラインが寸断されたとみられ、被災割合は過去の大地震と比べても突出して高い。被害規模が拡大したことで復旧が遅れ、住民生活への影響が長引いていると報道されています。 市の現状を把握することで、災害時に早期に対応出来ると考えます。 (1) 住宅等の倒壊の恐れのあるもの (2) 市が管理する公共の建物の耐震化率 (3) 液状化の恐れのある地域 (4) 道路および橋梁の寸断による孤立する集落 (5) 上下水道の耐震化率と寸断された場合の対応 (6) 密集市街地に火災が発生した場合 (7) 災害ゴミ (8) 近隣市との連携 (9) 避難所の収容人数の確保並びに衛生環境の確保

	(10) 避難所内でのプライバシーの確保
一般質問2 市制施行 70 周年記念事業について	(1) 三木市の宝である上田桑鳩氏をさらに周知していただく為、話題の「三木市役所」の門札のレプリカを作成し市役所玄関に掲示することを提案したいと考えるがいかがか (2) 70 周年記念事業等の参加の有無に関係なく全市民で祝う意味で、一定期間、市内の有料施設を無料解放してはいかがか

③ 又吉健二議員〔市民クラブ〕

発 言 事 項	内 容
質疑 1 第 23 号議案	令和 6 年度三木市一般会計予算 (1) 教職員研修の充実 ア 学習プラットフォームアプリ導入と活用 (2) 統合型校務支援システムの導入及びスクールサポートスタッフの増員 ア 学籍、成績、勤怠管理、徴収金管理、学校事務、グループウェアの活用 イ スクールサポートスタッフ増員と役割 (3) 部活動の地域移行を推進 ア ゴルフ部を新設する意図 (4) 青山 7 丁目団地再耕プロジェクトの推進 ア 人口減少、高齢化、空き家等の課題解決 イ 官民連携によるまちの魅力向上
一般質問 1 ゴルフ振興事業について	(1) ジュニア育成の充実 (2) 春高・春中ゴルフの聖地化
一般質問 2 教職員の働き方改革について	(1) 教育課程、年間授業時数の適正化 (2) 学習プラットフォームアプリの導入と活用、課題 (3) 統合型校務支援システムの導入と活用、課題 (4) 部活動の地域移行における、指針と具体的な取組案
一般質問 3 地震等、災害時の対応について	(1) 個人住宅等、建築物の耐震化率と対策 (2) 学校を地域防災拠点、避難所としているが施設設備、教職員研修 (3) 災害時における避難所等トイレ問題 (4) 女性の視点を踏まえた防災、備蓄計画 (5) 大規模災害が発生した場合、市外から支援を受ける際の受援計画と態勢 (6) 災害関連死を防ぐための具体策

令和6年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月6日(水) 午前 10 時～ 質問者順

① 戸田昌樹議員〔志誠会〕

発 言 事 項	内 容
質疑 1 第 13 号議案	山田錦の館条例の一部を改正する条例の制定 (1) 利用料金
質疑 2 第 14 号議案	三木市都市公園条例の一部を改正する条例の制定 (1) 改正後の供用時間
一般質問 1 公共交通について	(1) 吉川のデマンドサービス ア 現在の状況 イ よかたんバスとの比較 (2) 他地域への展開 ア ルール作り イ 広域化 ウ デマンドの運営事業者 (3) 高校生のバス通学 ア 統合後に向けた路線網の協議
一般質問 2 観光事業について	(1) サイクル事業 ア 現状 イ 目標 ウ 東北はりまサイクリングマップの市の関わり方 (2) リアル謎解きゲーム (3) フォトロゲイニング (4) 観光地での Wi-Fi 設置
一般質問 3 移住定住促進について	(1) トカイナカ三木新生活支援制度 ア 制度による目標 イ 制度の拡充 (2) 古民家再生促進事業 ア 予算内訳 イ 市民への利用促進方法 ウ DIY 型移住 エ 地域の特性に合わせた促進

② 西垣弘志議員〔市民クラブ〕

発 言 事 項	内 容
質疑 1 第 23 号議案	令和 6 年度三木市一般会計予算 (1) 市制施行 70 周年記念事業の目的と内容 (2) 三木金物ブランド力向上の取組内容と支援の方法 (3) 移住・定住の促進の「トカイナカ三木新生活支援制度」の目的と内容
一般質問 1 令和 6 年度施政方針について	(1) 持続可能な行政運営について市長の考え方

一般質問2 「金物職人サミット」開催について	三木市職員提案審査会による審査を経て採用決定し、事業の詳細は予算編成過程を通じて協議を進めていきたいとの答弁が12月議会でされたが (1)「金物職人サミット」を開催する予算は (2)「削ろう会」や「鍛冶でっせ」等他のイベントと連携させ、三木市として「金物職人サミット」を成功させる施策が必要ではないのか
一般質問3 職員の採用及び勤務条件、職員研修について	会計年度任用職員や再任用職員の勤務条件は人事院勧告に準じては改善されているが、三木市独自にできることが十分でないと思われる。また、職員研修についてはどのように計画されているのか (1) 正規職員、再任用職員、会計年度任用職員の職員数の経年の変化 (2) 専門職の採用 (3) 人権研修
一般質問4 災害対応の準備について	本年1月1日に石川県能登地方で地震があり、水害と違って一定の予測できないことが明らかになった。平時から準備が必要でないのか (1) 災害時におけるそれぞれの職種による業務対応の職員研修 (2) 市民の各家庭における未使用井戸を利用すること
一般質問5 北播磨総合医療センターへの三木市負担金について	平成25年に開設された北播磨総合医療センターは三木市・小野市が負担金を拠出することで収支を保っていると思われるが、 (1) 両市の負担金の割合は (2) その根拠は (3) 負担金の割合は開設当初から変更はないのか (4) 北播磨総合医療センターを受診される患者の住所地の割合は (5) 負担割合について協議する予定はないのか

③ 板東聖悟議員〔日本共産党〕

発言事項	内 容
質疑1 第23号議案	令和6年度三木市一般会計予算 (1) 青山7丁目団地再耕プロジェクトの推進〔事業費20億8,000万円のうち令和6年度事業費10億円〕 ア 施設整備費15億円の算出根拠 イ 運営費（令和7年度から10年）5億8,000万円の算出根拠 ウ 公共施設を削減する中で新たな施設建設をする妥当性 エ 施設整備イメージだけで確定したものではないものを議決すること オ 多世代共生住宅エリアの開発時期と担保 カ 能登半島地震復興や2025大阪・関西万博関連により今以上に資材等の高騰する懸念 (2) 省エネ家電買替え促進事業補助金〔事業費1,000万円〕 ア 新規購入 イ 設置費用 ウ 中古品 エ 複数購入の場合

	オ 5 万円以上とした理由 カ 支給方法 (3) 地域クラブ活動運営事業〔事業費 20 万円〕 ア 公立中学校でゴルフ部数 イ 視察先 ウ 生徒の経済的負担 エ 指導者の確保 オ 地域の協力体制 (4) 公民館施設管理事業のうち「公民館に Wi-Fi 環境整備」〔事業費 940 万円〕 ア ランニングコスト イ 利用ルール ウ セキュリティ対策 エ その他の公共施設の設置計画
<u>一般質問 1</u> 団地再耕プロジェクト	(1) 「住み続けられるまちづくり」の推進に関する連携協定の締結（2020 年 2 月 25 日）において 5 つの取り組み事項について締結後、どのような協議があり実現に向けて検討されたのか (2) 青山 7 丁目団地再耕プロジェクトに係る交流エリア施設整備及び運営事業者募集 ア 問い合わせ件数 イ 応募件数 ウ 優先交渉権者

令和6年3月定例市議会の質疑・一般質問

3月7日(木) 午前 10 時～ 質問者順

① 内藤博史議員〔公明党〕

発 言 事 項	内 容
<u>質疑 1</u> 第 23 号議案	令和 6 年度三木市一般会計予算 (1) 児童発達支援センター設置 ア 経緯、目的 イ 新規実施事業 ウ 人員など体制整備 (2) こどもサポートセンター設置 ア 予算の詳細 イ 物理的な場所を一本化にしなかった理由 (3) 三木フォトロゲイニングの実施 ア 事業内容、目的 イ 事業費 200 万円の詳細 (4) 市制施行 70 周年記念事業 ア 三木の祭り屋台大集合 3600 万円の詳細 イ 地域まちづくり交付金 100 万円の拡充について、どのような事業を想定しているのか。また各地区で行う目的 ウ 上田桑鳩作品展等 241 万円の詳細 (5) スマートインターチェンジの整備 ア 事業費 4 億 1300 万円の詳細 イ 令和 6 年度のスケジュール (6) 行かなくて e 市役所の構築(新電子申請システムの導入) ア 事業費 1096 万円の詳細 イ 導入により全ての申請に対応できるのか (7) 生成 AI の導入 ア 事業費の詳細 イ 目的や効果 ウ 具体的な活用方法
<u>質疑 2</u> 第 23 号議案 第 24 号議案	令和 6 年度三木市一般会計予算 令和 6 年度三木市国民健康保険特別会計予算 (1) 健康チャレンジプログラム～ヘルスアップコース～ ア 事業内容、目的 イ 事業費 283 万円の詳細
<u>一般質問 1</u> 健康福祉施策について	(1) 「1 か月児」及び「5 歳児」健康診査支援事業の市としての取り組み (2) 県の新年度予算で带状疱疹ワクチン接種費用の助成制度を計上していることを受けて、県内の自治体の動きと市としての方向性 (3) 県の新年度予算で不妊治療支援の強化として、保険適用外の先進医療費の助成を計上されているが、特定不妊治療のように市として随伴助成すること

一般質問 2 プライバシーや心情 に配慮した健康診断 について	(1) 学校での健康診断の状況 (2) 児童生徒や保護者からの要望 (3) 文科省通知の学校への周知 (4) 医師会と健康診断の実施方法などの協議
一般質問 3 学校図書館について	(1) 学校図書 of 計画的な整備 (2) 新聞の配備 (3) 学校司書の適切な配置 (4) 学校図書館の利用促進の取り組み (5) 児童生徒のタブレットと連動した「ぽけっと図書館」の導入
一般質問 4 放課後児童対策につ いて	(1) アフタースクールの待機児童の状況 (2) 長期休業期間の体制、申込み状況 (3) 支援員や補助員の処遇改善の取り組み (4) 支援員や補助員の資質向上のための研修

② 大眉均議員〔日本共産党〕

発 言 事 項	内 容
質疑 1 第 11 号議案	三木市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定 (1) これまでの助成金の額と効果 (2) 水道・電気助成金の今後 (3) 改正によりどのような効果が期待されるか
一般質問 1 介護保険について	(1) 介護保険料の改定、基金の活用 (2) 低所得者の利用料軽減 (3) 在宅サービス (4) 介護報酬の引き下げと職員の待遇改善 (5) 国庫負担の抜本的な引き上げ (6) 利用料 2 割負担の拡大 (7) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
一般質問 2 学校給食について	(1) 学校給食の軽減・無償化 ア 無償化のための費用 イ 国・県に対する要望 ウ オーガニック給食の実施 エ こどもたちの農業体験

③ おぎはら吉江議員〔日本維新の会〕

発 言 事 項	内 容
質疑 1 第 23 号議案	令和 6 年度三木市一般会計予算 (1) 教職員研修の充実 ア 教職員向けに導入する研修について、どのような研修を 想定しているのか イ 研修の効果について何をもって効果と言えるのか ウ 教職員 100 名を対象とする根拠 (2) 「チャレンジするなら三木！」プロジェクト ア この事業におけるメリット、デメリット イ 事業者選定時の見極め
一般質問 1 多言語化した行政情	住民登録が年々増加傾向にある外国人への対応 (1) ゴミ分別マナー啓発

報の提供について	(2) 医療機関を利用する際のサポート (3) 小中学校等の教育現場での支援
<u>一般質問 2</u> 地震等大規模災害時の体制整備について	(1) 三木市の備蓄物資供給体制 (2) ラストワンマイル問題への対応 (3) 情報伝達の手段 (4) 三木市の防災体制
<u>一般質問 3</u> LINE 導入による行政サービスについて	行政サービスの情報伝達方法のさらなる多角化を図り、情報発信力の強化が必要と感じるが (1) 三木市が LINE 公式アカウントを導入していない理由 (2) これまで市が導入したアプリの実績など、導入について検討、研究されてきた事を踏まえた今後の方向性